

# さあ、「ひっこし」だ！

## 野に出た小人たち

メアリー・ノートン 作 林 容吉 訳 岩波書店 933-ノ

借り暮らしをしていた小人のアリエッティとおとうさんのポッド、おかあさんのホミリーの3人は、人間にみつきり、大あわてで野原に逃げだします。そして、そこでみつけた古い編みあげぐつに住むことにします。アリエッティは外の世界に興味を持ちますが、おとうさんとおかあさんは危険がいっぱいだから気をつけるようにといます。

## 大草原の小さな家

ローラ・インガルス・ワイルダー 作 恩地 三保子 訳 福音館書店 933-ワ

インガルス一家は「大きな森」にあった小さな家を出て、新しい土地を求めて馬車で旅立ちました。そして、いくつもの州を越え、やっとたどりついた大草原に住むことにします。一家は協力して、その何も無い土地に新しい家を一から作ります。

## フクロのひっこし

A. A. ミルン ぶん 石井 桃子 やく 岩波書店 933-ミ

風がふいてこわれたフクロの家は、もう家には見えませんでした。すぐさま、あたらしい家をさがさなければなりません。みんなは、古い家からフクロのものをひっぱりだしました。すると、イーヨーがやってきて家を見つけたというので、みんなでそこにむかいます。

## おそうじをおぼえたがらないリスのゲルランゲ

J・ロッシュ＝マゾン 作 山口 智子 訳 福音館書店 953-ロ

そうじぎらいの末っ子のリスのゲルランゲは、おそうじの番にあたっていたのにでかけてしまい、にいさんたちにおこられました。そして、おばあさんにも家からでていくようにいわれます。意地っぱりのゲルランゲは、ごはんはいらぬ、野宿したっていい、オオカミにたべられてもいいけれど、おそうじはおぼえたくないといって、ふろしきづつみを肩にかたがいでいきます。

# おかえし

村山 桂子 さく 織茂 恭子 え 福音館書店 E-オ

あるひ、たぬきのいえのとなりへ、きつねがひっこしてきました。ひっこしのもつがかたづくと、きつねのおくさんは、かごいっぱいのおちごをもって、たぬきのおくさんのところにあいさつにいきました。

# ワニのライルがやってきた

B・ウェーバー さく 小杉 佐恵子 やく 大日本図書 E-ウ

プリムさん一家は、東88番通りの家にひっこしてきました。ひっこしのもつをはこびこみ、プリムさんのおくさんが手をあらおうと2階にあがっていくと、おふろばから音がきこえます。おくさんがおふろばのドアをあけると、なんとそこにはワニがいました。

# ツバメのたび ~5000キロのかなたから

鈴木 まもる 作・絵 偕成社 E-ス

にほんから5000キロはなれたみなみのくにのマレーシアから、1わのツバメがとびたちました。ツバメは、あめやあらしのなか、うみをこえ、なかまといっしょに、すいへいせんのむこうをめざします。